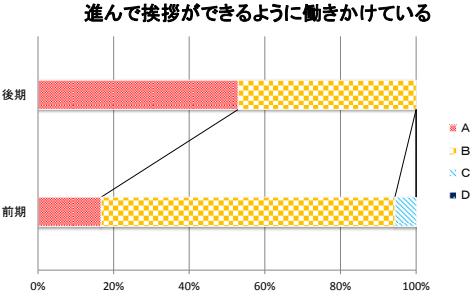
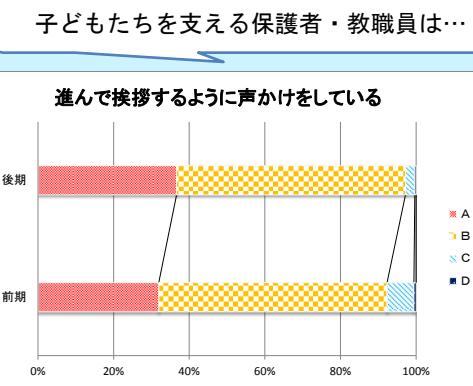
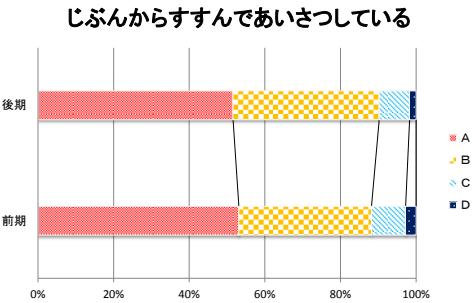


# 「北白川だより」 学校評価アンケート臨時号

京都市立北白川小学校  
校長 松本 和文

設問「こうないであったひとにたいして、じぶんからすんであいさつをしている」に対して、約90%の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。



子どもたち		A				B				C				D				保護者		A				B				教職員		A				B																																																																																																																																																																		
		後期	51.6%	38.7%	8.0%	1.7%	後期	36.5%	60.6%	2.5%	0.4%	後期	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	前期	49.4%	44.4%	4.7%	1.6%	前期	37.9%	59.2%	2.5%	0.3%	前期	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	前期	34.1%	43.7%	18.7%	3.5%	後期	23.6%	67.6%	8.8%	0.0%	後期	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	前期	34.5%	46.9%	16.1%	2.5%	前期	27.6%	62.8%	8.7%	1.0%	前期	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%	前期	34.5%	46.9%	16.1%	2.5%	前期	27.6%	62.8%	8.7%	1.0%	前期	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%	前期	34.5%	46.9%	16.1%	2.5%	前期	27.6%	62.8%	8.7%	1.0%	前期	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%	前期	34.5%	46.9%	16.1%	2.5%	前期	27.6%	62.8%	8.7%	1.0%	前期	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%																																																																																										
こないでいたひとにたいして、じぶんからすんであいさつをしている。	後期	51.6%	38.7%	8.0%	1.7%	我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。	後期	36.5%	60.6%	2.5%	0.4%	校内で会った人に對して、進んで挨拶ができるように働きかけている。	後期	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	前期	49.4%	44.4%	4.7%	1.6%	我が家では、我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。	前期	37.9%	59.2%	2.5%	0.3%	前期	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	ともだちとけんかをしたときに落ちていて考え、解決することができるよう話し合っている。	後期	23.6%	67.6%	8.8%	0.0%	友だちとけんかをしたときに落ちていて考え、解決することができるよう話し合っている。	後期	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	前期	34.5%	46.9%	16.1%	2.5%	前期	27.6%	62.8%	8.7%	1.0%	前期	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%	こまつことは、せんせいやかぞくにそだんしている。	後期	51.1%	29.9%	14.1%	4.9%	我が家では、子どもが話していることを、しっかり聴くようしている。	後期	21.5%	71.1%	7.4%	0.0%	子どもたちと会話する機会を積極的に設け、話をしっかりと聴くようしている。	後期	50.0%	43.7%	6.3%	0.0%	前期	51.7%	29.0%	13.4%	5.9%	我が家では、子どもが友だちとけんかをしたときに落ちていて考え、解決することができるよう話し合っている。	前期	25.1%	64.4%	10.5%	0.0%	前期	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%	ちこくをしないようこうこうしている。	後期	68.7%	20.1%	7.7%	3.5%	我が家では、我が家では、ちこくをしないように働きかけている。	後期	54.7%	38.9%	5.7%	0.7%	基本的な生活習慣が定着するよう働きかけている。	後期	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	前期	78.5%	15.6%	5.0%	0.9%	我が家では、我が家では、ちこくをしないように働きかけている。	前期	60.1%	35.5%	4.2%	0.3%	前期	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	うじじかん(15ふんかん)、じぶんからすんでそうじをしている。	後期	55.2%	35.5%	8.2%	1.1%	我が家では、我が子が、自分から進んで手伝いをするように、役割分担を与えている。	後期	13.4%	45.1%	35.9%	5.6%	自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするよう働きかけている。	後期	50.0%	43.7%	6.3%	0.0%	前期	57.8%	38.1%	3.4%	0.6%	我が家では、我が家では、うじじかん(15ふんかん)、じぶんからすんでそうじをしている。	前期	16.8%	35.6%	44.8%	2.9%	前期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	じぶんのよいところがいえる。	後期	32.3%	38.2%	18.6%	10.9%	我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。	後期	26.7%	62.0%	10.6%	0.7%	子どものよさを認め、ほめている。	後期	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	前期	34.6%	33.0%	22.7%	9.7%	我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。	前期	26.1%	61.5%	12.1%	0.3%	前期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

表やグラフから、子どもたちが「校内で会った人に挨拶しよう」と意識していることが伝わってきます。

このことは、児童会本部を中心とした「あいさつ運動」の子どもたちの様子からも伝わってきました。

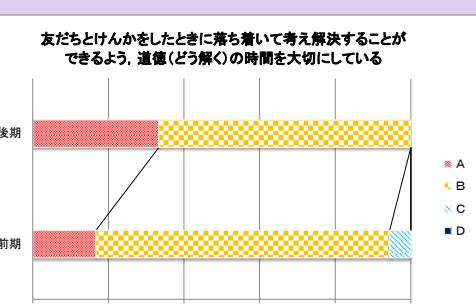
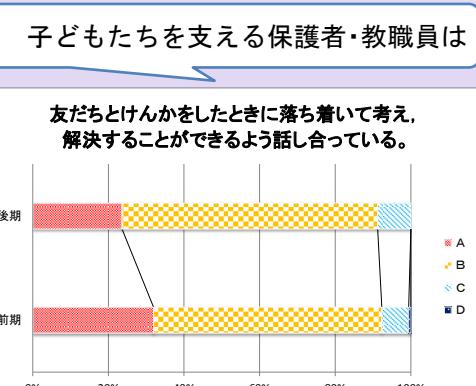
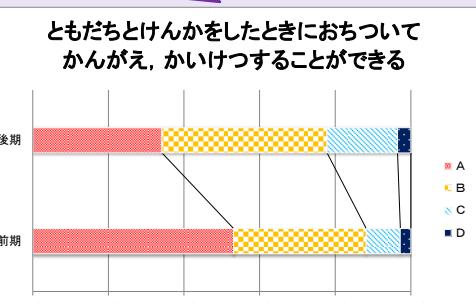
元気な声だけではなく、会釈を交えながら他者意識をもって挨拶しようとするこどもすてきであることを、引き続き、保護者・地域の皆様と共に「挨拶することの大切さ」を子どもたちに伝えていきたいと考えています。

本号は、今年度後期の学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面は、「生活面」についての「表」を載せています。

生活面の設問は全7項目ありますが、特に、「こうないでいたひとにたいして、じぶんからすんであいさつをしている」と「ともだちとけんかをしたときに落ちていて考え、かいつけすることができる」について、「グラフ」についています。

表のAは「よくできている」、Bは「だいたいできている」、Cは「あまりできていない」、Dは「できていない」を示しています。

設問「ともだちとけんかをしたときに落ちていて考え、かいつけすることができる」に対して、約78%の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。

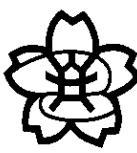


前期の学校評価アンケートで、「人の得意、不得意に対して善し悪しを決めないように教えています。このような図（下図参照）で、『人にはへこんでいるところも、出っ張っているところもあるが、図のどちらも面積は一緒である』と教えています」という保護者からのご意見を紹介しました。

子どもたちが「解決しようとすればできる」「できるようになる」という意欲やイメージをもつためにも、大切な支援だと感じました。

道徳（どう解く）の授業で子どもたちが学び合う場を大切にするとともに、子どもたちの声をしっかりと聴くこと、子どもたちに図示したり、助言を書き示したりする支援を続けていきたいと考えています。

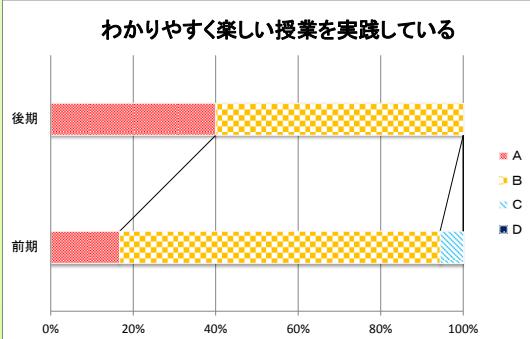
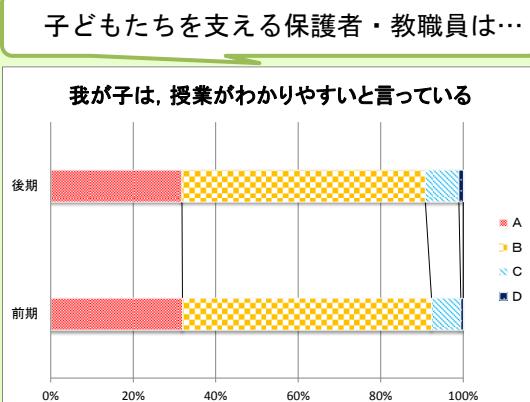
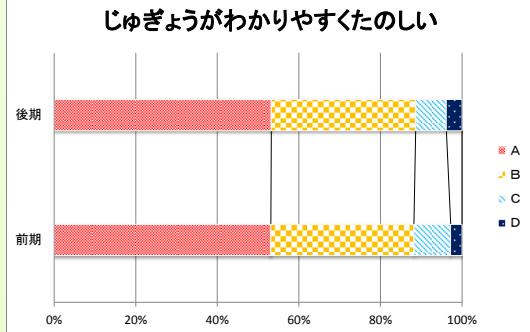




# 「北白川だより」 学校評価アンケート臨時号

平成 30 年 3 月 1 日  
京都市立北白川小学校  
校長 松本 和文

設問「じゅぎょうがわかりやすくていい」と回答している割合は、約 87% で、子どもたちが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。



## 平成 29 年度 後期 学校評価アンケート <学習面> ※前期との比較

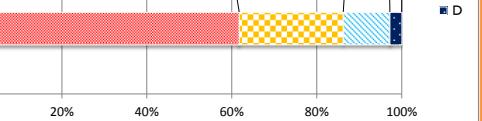
子どもたち	A	B	C	D	保護者	A	B	C	D	教職員	A	B	C	D
じゅぎょうがわかりやすくていい。	後期: 53.2%	後期: 35.4%	後期: 7.5%	後期: 3.9%	我が子は、授業がわかりやすいと言っている。	後期: 31.8%	後期: 59.0%	後期: 8.1%	後期: 1.1%	わかりやすく楽しい授業を実践している。	後期: 40.0%	後期: 60.0%	後期: 0.0%	後期: 0.0%
	前期: 53.1%	前期: 35.1%	前期: 9.0%	前期: 2.8%		前期: 31.9%	前期: 60.3%	前期: 7.1%	前期: 0.6%		前期: 16.7%	前期: 83.3%	前期: 0.0%	前期: 0.0%
じゅぎょうがちゅうよ、すすんではっぴようしている。	後期: 37.1%	後期: 34.6%	後期: 21.3%	後期: 7.0%	我が子は、意欲的に学習に取り組んでいる。	後期: 30.1%	後期: 52.5%	後期: 16.7%	後期: 0.7%	意欲的に学習に取り組むことができるように工夫している。	後期: 42.9%	後期: 57.1%	後期: 0.0%	後期: 0.0%
	前期: 35.1%	前期: 35.1%	前期: 24.2%	前期: 5.6%		前期: 28.0%	前期: 53.2%	前期: 17.8%	前期: 1.0%		前期: 22.2%	前期: 77.8%	前期: 0.0%	前期: 0.0%
けいさんやかんじのちからがみについている。	後期: 51.9%	後期: 35.1%	後期: 10.5%	後期: 2.5%	我が子には、読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身についている。	後期: 34.5%	後期: 52.8%	後期: 12.3%	後期: 0.4%	読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身につくように取り組んでいる。	後期: 26.7%	後期: 73.3%	後期: 0.0%	後期: 0.0%
	前期: 50.8%	前期: 37.1%	前期: 10.9%	前期: 1.2%		前期: 28.9%	前期: 57.1%	前期: 12.1%	前期: 1.9%		前期: 33.3%	前期: 66.7%	前期: 0.0%	前期: 0.0%
いえでじぶんからがくしゅうをしている。	後期: 60.9%	後期: 26.8%	後期: 9.1%	後期: 3.2%	我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	後期: 50.7%	後期: 41.5%	後期: 6.0%	後期: 1.8%	家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	後期: 13.3%	後期: 86.7%	後期: 0.0%	後期: 0.0%
	前期: 61.8%	前期: 24.5%	前期: 11.0%	前期: 2.8%		前期: 54.0%	前期: 40.6%	前期: 4.8%	前期: 0.6%		前期: 27.8%	前期: 72.2%	前期: 0.0%	前期: 0.0%
ほんをよくよんでいる。	後期: 58.3%	後期: 23.1%	後期: 14.4%	後期: 4.2%	我が家では、本を読むことが定着するように働きかけている。	後期: 29.6%	後期: 38.0%	後期: 26.8%	後期: 5.6%	読書の習慣が定着するように働きかけている。	後期: 26.7%	後期: 66.6%	後期: 6.7%	後期: 0.0%
	前期: 57.5%	前期: 23.6%	前期: 14.6%	前期: 4.3%		前期: 28.3%	前期: 34.0%	前期: 31.1%	前期: 6.7%		前期: 38.9%	前期: 61.1%	前期: 0.0%	前期: 0.0%

裏面は、「学習面」について前期と比較した「表」を載せています。学習面の設問は全 5 項目ありますが、特に、「じゅぎょうがわかりやすくていい」「じゅぎょうがちゅうよ、すすんではっぴようしている」「いえでじぶんからがくしゅうをしている」について、掲載しています。

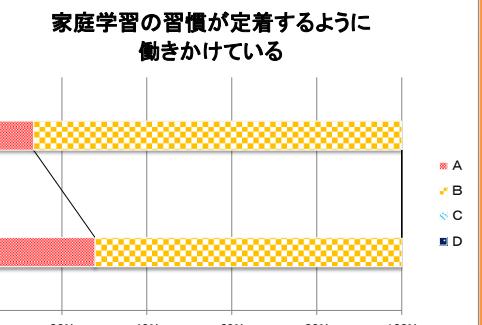
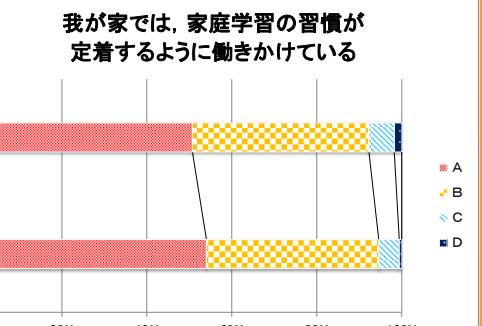
表の A は「よくできている」、B は「だいたいできている」、C は「あまりできていない」、D は「できない」を示しています。なお、教職員の A 及び B は、すべての子どもたちに学力が定着するように、「B、わかる」「A、できる」子どもたちを増やそうと努力していることを示しています。

設問「いえでじぶんからがくしゅうをしている」に対して、約 88% の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。

いえでじぶんからがくしゅうをしている



子どもたちを支える保護者・教職員は…



◇今回のアンケートでも、保護者の皆さんに数多くの記述をいただきました。ありがとうございました。一部になりますが、紹介させていただきます。

- 先生には、生活面・勉強面とも自覚や成長を促すような声かけ・接し方をしていただいていることが子どもの様子からよく分かります。
- 自学ノートや日記、日々のデイリーカードに丁寧にコメントを書いてくださいり、学習意欲が高まり、自宅でも進んで学習に取り組んでいます。朝会などで“話す力の場”を与えてくださることも発言力につながり、成長を感じています。
- 設問「自分から進んで手伝いをするように、役割分担を与えている」について、進んで手伝いをするようにあえて役割分担は与えていません。その時に必要なことを判断できるようになってほしいと考えています。自分の責任を全うするという意味では、役割を与えた方が良いかもしれませんね。
- 委員の仕事や他でも责任感が少しづつ出て来ているように思いますが、何をするにも時間がかかるので課題は多いです。できる限り本人の考えを聞いて、次にどうすれば良いか話し合うようにしています。
- 生活に関しては、学校であった出来事など、漠然と聞くのではなく、子どもが話しやすい話題をしたり、最後までしっかりと聞いたりするように努力しています。学習に関しては、以前は帰宅してから宿題をするまで時間がかかり、何度も声かけしていましたが、自分から取り組み、時間を決めて〇分までに終わらせると目標を立ててやっています。復習をやって理解ができるよう努力しています。

保護者の皆様からいただいた要望・感想についても教職員が共通理解を図るとともに、3 月 9 日（金）の「学校運営協議会理事会」でも話題させていただきます。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。